

スズキ F230

小型フィッシングボートの遊びを広げるアイテム、マイボート・シリーズによる艦装です。

沿岸のフィッシングならすべてチャレンジしよう、楽しもうというコンセプトで、ライトローリング、曳釣り、キャストイング、ボトムフィッシングと展開しています。

このようにすべてのタックルを装着して展開しているとずいぶん使いやすいにくそうに見えるのですが、ローリングと曳釣りのシーズンにはスパンカーを取り外し、逆にボトムフィッシングシーズンにはアウトリガーポールを取り外してしまえば、機能美のあるシンプルな展開になる

はずです。さらにはロッドキーパー、ボックスキーパー、ロッドホルダーなどもPL座セットを残してすべて利用したい物だけセットすれば、目的に向かったフィッシングを楽しむことができるはず。



ヤマハ UF-23

チャンスがあれば東京湾口まで出てライトローリング。イナダ、カツオ、メジマグロなどを狙い、フィッシングを楽しみたいということでアウトリガーシステムをフィッティング。しかしメインの目的は、横浜港内防波堤でのフィッシングやシーバスフィッシング。したがってアウト

リガーポールとPL座セットに取付けてあるマイボート・ロッドホルダーを取り外せば、ローリング装備はほとんど姿を消してしまいます。

横浜港内運河に入るため、橋などの障害物をくぐるようルーフはキャンピータイプのオーニングシステム、前面にはクリアウィンドウを装備(このシステムは前方へ倒せます)。

その他リーニングシートは1.5人

分の面積を持ち、パイプを利用してロッドラックを装備。さらには船首とスターンコーナー部に中空クッション構造の防舷材を装備して、防波堤などのフィッシングに備えています。



ヤンマー ZG26

レジャー漁船シリーズとして開発されたインボードアウトドライブ艇で、スパンカーの有効性の良いランクに入り、展開、収納時の作業性なども理想の位置に取付けることができる、スパンカーが良く似合うボートです。このボートの使用目的はただひたすら釣り。釣りの機能が優先

される艦装しか考えないというぐらいのものでした。

そうなると一番重要なアイテムは、GPSプロッタ魚探であり、選定基準として魚探の機能を優先。2周波魚探で送信出力1KW、船底貫通型センサーで装備しています。このGPSプロッタ魚探一台で、その他の艦装アイテムがすべて購入できる費用でした。

スパンカーを取り外してのローリング。シンプルかつ釣り機能優先のアレンジです。曳釣りだけ行うなら、スパンカーが装備されていてもなんとかなりませんが、ロッド、リールを使用するローリングでは邪魔になってしまいます。





ヤマハ UF-33

クルージングも可能にしてくれる大型センターキャビンと広いデッキスペース。釣り機能に留まらず、使いづらい所、より機能的になる所はほとんど手を加えていくことで、より高い快適性と実用性を追及できるボートです。沿岸や大陸棚でのフィッシングだけ

ではなく、いままで釣行できなかった伊豆諸島へもチャンスがあれば足を延ばしたい。日本の海に合った走航性とシンプルであっても使いやすいキャビンを持ったボートを選んだ理由はそこにありました。

艀装の中で最も外観的に特徴的なのはブルワークトップにチーク材を張り合わせたところで、釣りの仕掛けにやさしく、人に快適性を与えています。その他実用性重視の本格的装備は細部にわたって行われており、日本の海に合った、日本の釣り方に合ったフィッシングボートとして魅力を増していったボートです。



プロオーシャンクルーザー 54

日本の海での釣り機能を極限まで追及したフィッシングボートとして建造から計画し、艀装業者が建造プロデュースして誕生したジャパニーズ・オリジナル・カスタムボート。メーカーのプロダクションボートを選び、制限あるスペースの中で目的にあった装備を行うのではなく、自分の使用目的に合ったスペースと装備品を予想して一つ一つプランニングして作り上げた作品がこのボートです。

漁船の船型を受け継いだ船型は、他のプレジャーボートが走れない海を走れるボートであり、キャビン内ベッドスペースは7名分、日本中の港を旅して歩くことができるぐらいの居住性を

持っています。

この船で使用目的上4mという長さを要求したアフトデッキスペース。この長さによって船の全長が決定したと言ってもいいぐらいの特徴をもった広いデッキスペースの中央部に位置しているのが作業台。この作業台を見ることがフィッシングの内容が伝わってきそうです。

すべてにおいて満足できる装備が行われたボートです。



ヤマハ遊漁船 FG-180

漁船ほくないデザインで、クルーザー的な雰囲気を持った、釣り乗合船のイメージを一新する洗練された遊漁船が計画されました。釣り機能はもちろんのこと、清潔感の高い個室トイレや、大型の窓が採用された居住性の良いキャビンを持った新型の遊漁船です。しかし器は変わっても今までの釣り釣りで遊ばせるのと同じこと。オーナーとの打合せで釣

りプラスαの遊びを提案するための艀装が施されました。

パウデッキに設置されたバーベキューテーブル、上にはパラソル、周囲にコップホルダーと灰皿が付いたイスが置かれ、回転させればフィッシングチェアに。こういう楽しみができるとなれば、これまでとは違った



目的を持った利用が増えることは間違いないはずです。さらに、この船にマッチングさせて作られたスパンカーシステム。セイルにはマイラ

ーを使用し、パラソルと同じ布を使ったセイルカバーで収納するというこだわりを持った艀装の演出もいたしました。

FMSマリンカタログ内のフィッシング用品や艀装品を使用して、ベストフィッシングボートを提案しました

※FMSでは新艇の購入、乗替時に艀装の打合せをする場合、ベストフィッシングボートを提案することによって見積りを行っています。お気軽にお問い合わせ下さい。